

1 事業概要

事務事業名		体育施設整備事業		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	343	
				会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	単年度	
				開始	S36	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	教育振興基本計画						
		スポーツ推進計画						
法令・例規等								
事業目的	対象	施設数：（施設44）						
	意図	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。						

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・社会体育施設（体育館、武道館、弓道場、運動場、野球場、アクアパーク、市民プール、B&G海洋センター、テニスコート、研修センター等）の改善・改修、備品の修繕、設置等を実施しました。 ・主要な体育施設である上郷体育館男子トイレの洋式化を実施しました。	上村弓道場解体工事						2,916
アクアパーク流水ウォール・ファミリーウォール施設修繕						9,262		
体育施設トイレリメイク事業						1,782		
		その他の経費				8,336		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0	0				
29年度決算(千円)	予算額		22,830					特定財源内訳及び補足事項
	決算額		22,296					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源		22,296						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	11	3	22,830	22,296	体育施設改修費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	老化化により改修・修繕を必要とするものが多くなっています。
上記の課題解決のための有効策	公共施設マネジメントの考えに沿って将来的な社会体育施設の在り方について検討する必要があります。緊急性・安全性を考慮しつつ計画的な整備も必要です。
次年度に向けての取り組み	緊急性・安全性を考慮して計画的な整備を進めます。あわせて公共施設マネジメントの考えに沿って、将来的な社会体育施設の在り方について検討します。